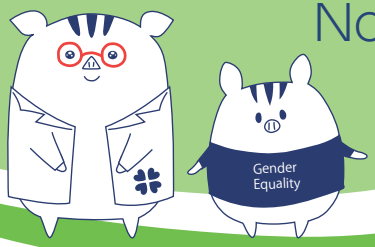
神 戸 大 学 インクルーシブキャンパス＆ヘルスケアセンター

No.59

ジェンダー平等推進部門便り



2024 年 10 月 31 日発行

神戸大学インクルーシブキャンパス＆ヘルスケアセンタージェンダー平等推進部門　〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 Tel: 078-803-5471/5017

文部科学省の女性リーダー育成事業に採択されました

「ADRES サイクルによる輝く女性リーダー活躍促進プログラム」

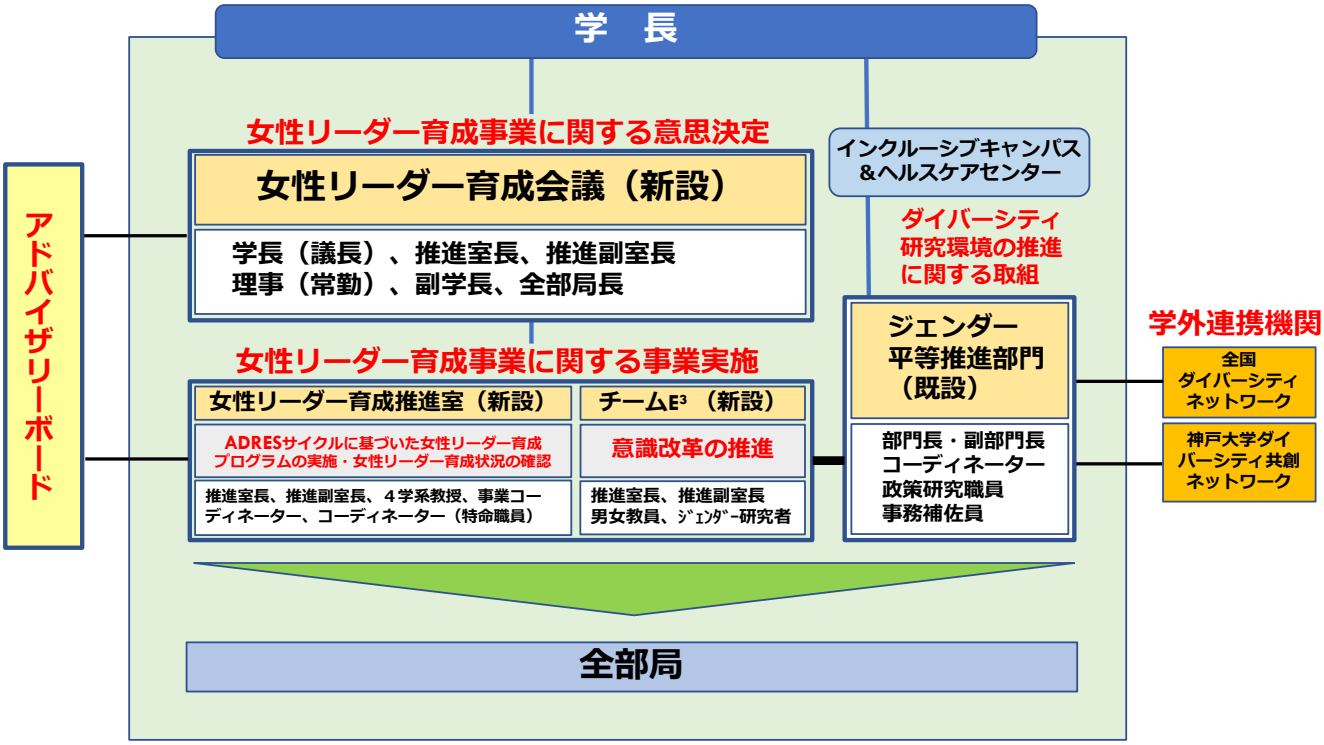
令和 6 年 10 月 1 日付で文部科学省・科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」に採択されました。本学採択事業「ADRES サイクルによる輝く女性リーダー活躍促進プログラム」では、女性教員の採用比率と在籍比率の向上、特に自然科学系の女性教授を増やすことを目的として、承継内女性教員採用比率 30％以上、承継内女性教員在籍比率 25％以上、承継内自然科学系女性教授 4 倍増などの目標を掲げています。

これらの目標を達成するため、女性リーダーを飛躍的に増加させるための昇任支援制度を運用しロールモデルを提示する「登用」、大学院生から管理職までを対象にしたシームレスな研究支援で女性リーダー＆リーダー候補者を増やす「育成」、全ての構成員を対象にしたワークライフバランス支援で女性リーダー＆リーダー候補者の定着へつなげる「定着」、登用・育成・定着の循環の土台となる「意識改革」からなる ADRES サイクルを構築し、このサイクルを持続的に運用することで女性リーダーを輩出できる好循環を作ります。

本事業の実施に当たっては、学長直下に事業に関する意思決定と事業進捗の管理を担う「女性リーダー育成会議」を新設し、同会議の直下に事業実施を担う「女性リーダー育成推進室」と意識改革を担う「チーム E³」を新設します（下図参照）。既設の「ジェンダー平等推進部門」は、これまで通りダイバーシティ研究環境の推進に取り組むとともに、学外機関とも連携しながら「女性リーダー育成推進室」の円滑な業務遂行を支援します。

本事業の実施期間は、令和 6 年 10 月から令和 12 年 3 月までの 5 年半です。この間、女性リーダーの登用、育成、定着と意識改革に関する様々なプログラムが展開されます。本学の皆様には、各プログラムを是非ご活用いただきますとともに、本事業にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- 女性リーダー育成事業の体制 -



神戸大学ユネスコチェア

2024 年度 神戸大学ユネスコチェア教育プログラム

実施期間：2024 年 12 月 7 日（土）～ 12 月 8 日（日）10:30~16:30（両日）

神戸大学ユネスコチェア「ジェンダー、脆弱性、ウェルビーイングを中心に据えた減災対策」事業の一環として、海外の連携大学（ガジャマダ大学（インドネシア）、トゥンクアブドゥルラーマン大学（マレーシア）、高雄科技大学（台湾）等）と合同で教育プログラムを開催します。英語で行う本プログラムは、各大学による災害の現状報告、災害に関する学習、小グループに分かれての災害・減災に関するディスカッション及び報告で構成されています。海外の大学生との議論を通して、頻発する災害について自らは何ができるのか、多様な視点から災害・減災を考える機会となります。

募集期間は10月7日～11月5日です。詳しくはGEMsや以下のURLをご参照ください。

https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/project/unesco/news/2024/post-1.html

unesco Chair

ユネスコチェア
ジェンダー, 脆弱性, ウェルビーイングを中心に据えた減災対策
神戸大学

神戸大学ユネスコチェア 研究プログラム 国際共同研究セミナーが開催されます

神戸大学ユネスコチェアの活動の一つは、年に一回開催される「国際共同研究セミナー」です。開催校は当番制で、2023 年度はコロナ以来、初めての対面セミナーがマレーシアのトゥンクアブドゥルラーマン大学で開催されました。

今年度はメーファールアン大学（タイ）が担当大学で 11 月 16 日（土）に開催される予定です。テーマは「ジェンダー平等とウェルビーイングの海を航海する～持続可能な未来における気候変動のインパクト」です。実は 9 月に入ってからタイ北部に例年にない大雨が続いており、大きな被害となっています。気候変動関連のセミナーを現地にて開催予定でしたが、メーファールアン大学は被害を受けながらも支援活動を行っているため、本セミナーを対面で開催することが難しくなり、今年度はオンラインで実施することになりました。オンライン開催となったおかげで、神戸大学の教員や学生の参加が可能となりました。希望者は gnrl-unesco[at]office.kobe-u.ac.jp までご連絡ください。

科研費プロジェクト「大学における「Inclusive 文化」形成－ジェンダー意識の把握と改革の実現へ」のご協力、ありがとうございました！

ジェンダー平等推進部門が進めている科研費プロジェクト（「大学における「Inclusive 文化」形成－ジェンダー意識の把握と改革の実現【2022 年度 挑戦的研究（萌芽）22K18555、研究代表者アレキサンダー　ロニー】）の一環として、2024 年 4 月 30 日～ 6 月 10 日まで、全学の教員を対象にアンケート調査をオンラインで実施しました。おかげさまで、教員 1578 名のうち、414 名（回答率 26.2%）から回答がありました。その後、9 月 19 日と 24 日に参加希望者を対象にワークショップを実施し、ジェンダー平等についての活発な議論が展開されました。2024 年度は本研究プロジェクトの最終年度のため、報告会を 2 月頃に開催する予定です。アンケート調査の回答者のみならず、興味ある方はどなたでも参加できます。詳細については、年明けにジェンダー平等推進部門の HP に掲載する予定です。

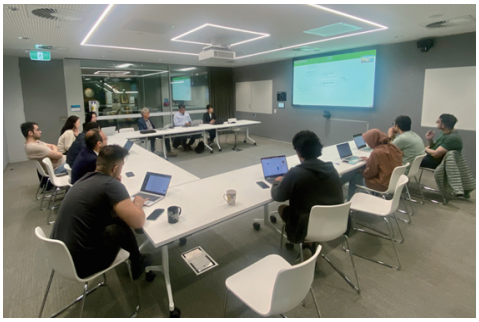
令和５年度国際共同研究者養成プログラム 研究報告

海事科学研究科　准教授　平田　燕奈

【派遣期間】2023/10/30-2023/11/4
【派遣国】オーストラリア
【派遣先研究機関】University of Melbourne

令和５年度 国際共同研究者養成プログラムの支援を受け、フィリピンにおけるフィジカルインターネット（PI）導入ロードマップの策定における重要要因と優先事項の特定に関する研究を実施しました。国横断的研究プロジェクトとして、本研究は、アジア太平洋・東南アジア (AP＆SEA) 地域における物流分野の PI について、地域的・国別の背景に即した研究・イノベーションビジョンと戦略的導入の道筋を確立することを目的とするものです。

昨年 11 月初旬には、アジアの PI の先導的研究を行っているメルボルン大学を訪問し、関係研究者と交流しました。また、昨年 11 月 22 日に、フィリピンの産業界を対象に「Meeting the Global Logistics Challenge in the Philippines through the Physical Internet」と題したセミナーを開催しました。



メルボルン大学訪問中のワークショップで意見交換。優秀で活発な多国籍の PhD 学生も参加。

これらの研究活動の結果、筆頭著者として２本の共著論文が執筆されました。１本目は、「Logistics hub and route optimization in the physical internet paradigm」と題するもので、学術誌『Logistics』に掲載されました。この研究成果、PI 環境での最適化は物流効率を向上させると同時に、新たな投資を必要とせずにＣＯ２（二酸化炭素）排出量を約 54％削減することが実証されました。このような最適化モデルを導入することで、物流の人手不足、高コスト、環境問題を一挙に解決することが期待できます。

駅に面したメルボルン大学の門の1つ。多言語で「ようこそ」。

２本目は、「Semi-systematic review of the main topics on the Physical Internet from 2011 until 2023: A Natural Language Processing Approach」が現在査読中です。研究結果では、製造・生産に関連するデータや匿名性ルーティング技術としての TOR 技術が、PI の社会実装において重要な技術であることが示されました。また、PI を促進するために、物流施設の屋上等で太陽光発電を利用することが提案され、人間の行動がエネルギーシステムに大きく関わっていることを明らかにしました。

このプロジェクトの海外共同研究者である、メルボルン大学の Russell Thompson 教授が今年 10 月末に本学を訪問し、今後の共同研究の方向性について意見交換する予定です。

理系志望の女子向けオープンキャンパス 2024 を開催しました

2024 年度理系志望の女子向けオープンキャンパスをオンラインで、８月７日 (水）に実施しました。（10:00 ～工学部志望者向け / システム情報学部 (2025 年 4 月新設）志望者向け , 13:00 ～海洋政策科学部志望者向け , 15:00 ～理学部志望者向け)

オープンキャンパス前半は、ジェンダー平等推進部門長からの挨拶、学部長等による学部紹介続き、女性教員による学科の紹介や研究紹介が行われました。後半はブレイクアウトルームを使って、学科 / 領域毎に女性学生と女子高校生の交流会を実施しました。 参加者アンケートへは、「自分から質問できたので他のオープンキャンパスとは違う良さがあった」「進路が全く決まっていない中、進路選択の参考にすることができた」「なかなか現地まで足を運べないが、オンラインでの開講はとても助かった」といった声をいただきました。ご参加頂きました高校生の皆様、当日オンライン交流会を進行していただいた、工学部、海洋政策科学部、理学部の学生の皆様ありがとうございました。

オンライン介護個別相談を実施しました

2024 年 9 月 9 日（月）～ 9 月 25 日（水）に、オンライン介護個別相談を開催しました。NPO 法人ホームホスピス神戸なごみの家 理事長の松本 京子先生に相談員をしていただき、4 名の相談者と Zoom を使って個別に相談を行いました。個別相談を受けられた方からは、「介護という私的な事を職場でプライバシーに考慮しながら相談することができるのはありがたい」や「話を聞いて頂けるだけで、少し楽になりました」との感想をいただきました。

カタリバを開催しました

内閣府令和 6 年度男女共同参画週間（6 月 23 日～ 29 日）に合わせて、ジェンダー平等推進部門では、「男女共同参画週間 with ジェンダー平等推進部門」とし、この期間にワークライフバランスに関するカタリバを開催しました。(日時とテーマ：6 月 24 日（月）12：00 ～ 13：00 育児を中心に , 6 月 25 日（火）12：00 ～ 13：00　介護を中心に)

3 名の方がオンラインで参加され、お子さんの病気の時の対応方法や、遊び場の情報交換、介護に関する情報の入手方法等について参加者同士でざっくばらんに情報交換をしました。

ジェンダー平等推進部門内に**情報コーナー**を**オープン**しました

ジェンダー平等推進部門（六甲台第 2 キャンパス・眺望館 2 F) に、多様な性やジェンダーに関する書籍を読んだり、DVD を視聴できる情報コーナー（以下写真）をオープンしました。貸出も行っています。神戸大学構成員であればどなたでもご利用頂けます。ぜひ、お立ち寄りください。

利　用　案　内

開室時間：
平日 10:00-16:00
※開室日・時間は変更になる場合あり
貸　　出：5 冊・点
貸出期間：2 週間

お・知・ら・せ

多様な性・ジェンダーに関する相談窓口のご案内

ジェンダー平等推進部門では、神戸大学構成員の皆様の多様な性・ジェンダーに関する相談に対応しています。ご相談は、こちらの QR コードから。

多様な性・ジェンダーに関する相談窓口

多様な性・ジェンダーに関する研修動画のご案内

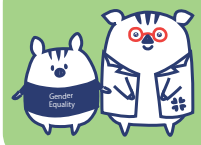
神戸大学 ICHC センター　多様な性･ジェンダーに関する構成員向け研修作業部会が、「多様な性、ジェンダーに関する研修　知識と理解編～多様な構成員が活躍できる環境づくりをめざして～」を制作いたしました。

多様な性・ジェンダーに関する研修動画

ダイバーシティ教育プログラム動画のご案内

ジェンダー平等推進部門では、男女共同参画の推進に向けて教育プログラム (e ラーニング) を作成しました。学内限定で公開しています。ぜひご活用ください。

ダイバーシティ教育プログラム動画



ジェンダー平等推進部門にご意見・ご要望がありましたら、ホームページのお問い合わせからご意見箱を使ってお送りください。みなさまからのご意見・ご要望お待ちしています。

ジェンダー平等推進部門HP　http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/